

福島第一原子力発電所で働くみなさんへのお知らせ

# 2018年



# 月刊いちえふ。

とぴっくす



#### 年末年始の交通安全運動!

福島県では、12月から2019年の1月の間で「年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動」が行われます。年末年始は特に交通安全の意識を高めましょう。





#### 5Sを意識してきれいな職場に

年末に大掃除をする際には、5S(整理・整頓・ 世いそう せいけつ しが 清掃・清潔・躾)を意識して、きれいで安全な 職場づくりを心がけましょう。





# 冬こそ水分補給を!

風邪対策にはうがい、手洗いだけでなく、水分補給 も大事な予防策です。乾燥状態はウイルスが活発 に活動するので、しっかり水分補給しましょう。



#### INDEX

#### ■いちえふのいま

3号機燃料取り出しに向けた 準備作業での不具合に対する 再発防止策の進捗状況

- ■1Fを守る仲間たち
  - ●東京電力廃炉資料館 東双不動産管理のみなさん
- 安全の心得 【火気作業編 7】
- 福島QUIZ

#### 囲歩なりに

福島名産の詩め合わせ



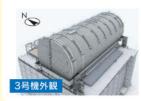
# いちえふのいま

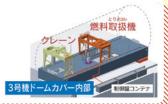
#### 3号機燃料取り出しに向けた準備作業での ぼうしさく しんちょくじょうきょう 不具合に対する再発防止策の進捗状況

3号機の燃料取り出しについては、3月の燃料取扱設備の 試運転開始以降、クレーンの電圧設定ミスによる機器損傷\*1 や燃料取扱機のケーブルの腐食・断線\*2など、これまでに いくつかの不具合が発生しました。

その対策として、燃料取扱設備の不具合発生リスクを抽出するため安全点検を実施しています。一連の作業を模擬した動作確認を11月21日に完了し、13件の不具合を確認しました。引き続き、11月20日から開始している設備点検の結果も踏まえ、必要な対策を順次行っていきます。

これらに加え、燃料取扱機のケーブル接続部の不具合への対応として、ケーブル・コネクタの取替作業を12月中旬ごろから着手する予定です。





- ※1 クレーンの電圧設定ミスによる機器損傷(そんしょう):5月11日、クレーン試運転において、制御盤内(ばんない)で不具合(異音(いおん)の発生、すすの付着)が発生し、クレーンが停止。 原因調査、対策実施(たいさくじっし)後、7月14日に試運転を再開
- ※2 燃料取扱(とりあつかい)機のケーブルの腐食(ふしょく)・断線:8月8日、燃料取扱(とりあつかい)機において、原子力規制委員会による使用前検査中に制御系に関する異常(いじょう)を示す警報(けいほう)が発生し、動作不能となった。原因はケーブル接続部に雨水などが浸入(しんにゅう)し、劣化(れっか)により断線したことによるものと判明

# を守る仲間たち

# △ 東京電力廃炉資料館

東双不動産管理のみなさん



# 反省と教訓、そして正確な情報を お伝えすることが使命

2011年3月に1Fで起きた事故についての詳しい情報と、 廃炉事業の現状を知ることができる場として、2018年 11月30日、富岡町に「東京電力廃炉資料館」が開館 しました。資料館の運営やご来館者さまの案内を担当する 東双不動産管理のみなさんに、開館直前にお話をうかがいました。

# 誰でも訪れることができる資料館で 1Fの正確な情報を伝えたい

この資料館がつくられた目的と、みなさんのお仕事を教えてください。



塩澤さん: 私は、廃炉資料館の運営副責任者という立場で、 今年の4月に着任しました。視察や運営の全般を担当しています。この資料館は、事故当時の様子をみなさまにお伝え

で家族、ご友人と一緒にぜひお越しください。

メッセージ



(写真左から)

Late to say to にまっま は ねもと ま き こ 塩澤 文夫さん 小松 真帆さん 根本 真紀子さん たがはし あや か まかだ ひでのり えんどう ひろぶみ 髙橋 彩花さん 岡田 英記さん 遠藤 紘史さん して、二度と事故を起こさないための反省と教訓を示すとともに、現在進んでいる廃炉作業の取り組みについてわかりやすくお知らせすることを目的としています。

遠藤さん: 私と小松、髙橋は、廃炉資料館の案内スタッフとして、開館に向けて研修を重ねているところです。ここを訪れた方々に展示内容のご説明をしたり、ご質問に答えたりするのが主な仕事です。資料館はじっくり見学すると2時間くらいかかります。

—— もうすぐ廃炉資料館が開館しますが、 どのようなことを期待していますか。

小松さん:私は地元の出身ですが、この仕事に就くまで1Fのことをよく知りませんでした。ましてや、県外では正確な情報を知らない方が多いでしょうから、そういう方々に現在の1Fの様子を伝えていきたいと思っています。

**髙橋さん**: 私も同じです。ご来館される人にわかりやすく正確な情報を伝えると同時に、浜通り地域の復興にも役立つことができたらと期待しています。

遠藤さん:作業員の方々で、ご家族に自分がどういう場所で 仕事をしているのか、見せたい方もいらっしゃると思います。 作業員の方でないと1F構内に入るのは難しいですが、廃炉 資料館ならば誰でも来られますし、現在の1Fのこともよく わかります。ぜひ、みなさまのご家族やご友人と一緒にお越し ください。

# 地元の復興に貢献できると考えて この仕事を選んだ

---- 研修を受けてみて、大変だったと 感じたことはありますか。



塩澤さん:原子力発電所のしくみは複雑ですから、技術的なことについてわかりやすく説明するのは難しいことだと感じています。うまく伝えられるように、今後とも勉強していかなくてはなりません。





館内はゾーンに分けられ、映像や模型を駆使した展示が並ぶ

遠藤さん:情報を正確に伝えなければならないので、責任が 重大です。研修では、ご来館者さまからどういう質問が あるかを想定して練習していますが、実際にどのような質問 が出てくるのかは、始まってみないとわかりません。いよ いよ開館だという期待の気持ちもありますが、不安も少し あります。

#### ―― なぜ、この仕事を選んだのですか。

小松さん: 私は広野町出身で、以前は東京で接客の仕事をしていたことがあります。今回は、地元のためになれると同時に、接客の経験が生かせる仕事だと思い、迷わず応募しました。

高橋さん: 私は地元の富岡町出身で、双葉郡内にある高校に通っていました。学校では、地元の復興のために何ができるかをみんなで考える、未来創造探究という授業があり

ました。地元の復興のために貢献したいと考えて、この仕事を選びました。

#### ご案内の仕事はご来館者さまの反応が 直接伝わってくるのでやりがいがある

この仕事をしてよかったと感じるのは どういうときですか。

遠藤さん: これまでも1Fをご視察される方をご案内する 仕事を担当していました。自分が発信したことに対してすぐに 反応があるので、やりがいを感じていました。 廃炉資料館 ではさらに新しい経験ができそうで楽しみです。

小松さん: 直接よかったと言ってもらえると、この仕事をやってよかったと感じます。また、仕事を通じて知識が増えていくことで、自分の世界が広がることも楽しみの一つです。

# 東京電力廃炉資料館

- ●所 在 地:福島県双葉郡富岡町大字小浜字中央378
- ●連 絡 先:0120-50-2957
- ●開館時間:9時30分~16時30分
- ●休 館 日:毎月第3日曜日 および年末年始
- ●入館料:無料

(駐車場無料)



#### お勤め先

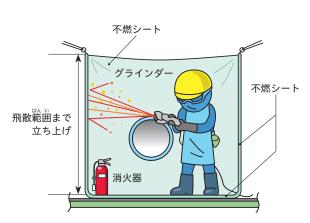
#### 東双不動産管理株式会社

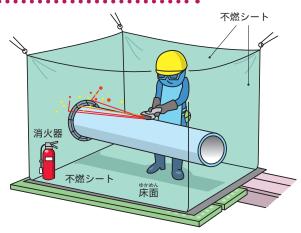
続きはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」でお読みください URL: https://lf-all.jp/interview/54/

# 安全の心得 火気作業編 7

# 火気養生をしっかり行おう

グラインダー作業時の火気養生ポイント (足場、グレーチング上で四方に飛散する場合)





# 品島 Quiz

今月は福島QUIZ 第1問です。福島県にまつわるクイズ を毎号出題します。あなたはどのくらい知っていますか?



# 。福島県の県の木は?

- クロマツ

#### ▶ 今号のプレゼント

福島名産の 言め合わせです。

※賞品は写真と異なる 場合がございます



▶応募方法・プレゼントのお受け取り方法 福島クイズに正解した方の中から抽選で5名様に プレゼントをさしあげます。

โดงวัสเบเลือกได้ ๆ ยัง 入退域管理棟、福島第一登録窓口通用口にある ぉぅゖゖ 応募箱に必要事項をご記入のうえ、ご応募ください。

# 応募箱設置期間 12月20日~1月10日

- \*応募用紙は応募箱横に設置しています。
- \*当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせて いただきます。
- \*答えはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」新着情報で 発表します。

# 1**F** • R ALL JAPAN

ウェブサイトの紹介

https://1f-all.jp/

福島第一原子力発電所の廃炉事業を進める作業員のみな さんに、働く仲間や応援者のメッセージを伝えるため2015年 10月に開設した「ヿ゚ FOR ALL JAPAN」です。 ウェブサイト でも本誌でも、作業員のみなさんを応援していきます。



#### 月刊いちえふ。 2018年12月号

【発行日】2018年12月20日 【発行】

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニ-廃炉コミュニケーションセンタ-

【お問い合わせ先】 Mail:info@1f-all.jp